

令和5年度
鹿児島大学共同獣医学部学校推薦型選抜Ⅱ

小論文問題

この問題冊子は合図があるまで開かないこと。

この問題冊子は表紙、メモを含む4ページからなる。

印刷が不鮮明な場合や落丁等がある場合には挙手で監督者に知らせること。

問題は全部で2問である。2問とも回答すること。

<メモ>

問 1

以下の文章を読み、動物実験に際して、獣医師が果たすべく役割について、800字以内で記述しなさい。

動物を科学上の利用に供することは、生命科学の進展、医療技術等の開発等のために必要不可欠なものであるが、その科学上の利用に当たっては、動物が命あるものであることにかんがみ、科学上の利用の目的を達することができる範囲において、できる限り動物を供する方法に代わり得るものを利用すること、できる限り利用に供される動物の数を少なくすること等により動物の適切な利用に配慮すること、並びに利用に必要な限度において、できる限り動物に苦痛を与えない方法によって行うことを徹底するために、動物の生理、生態、習性等に配慮し、動物に対する感謝の念及び責任をもって適正な飼養及び保管並びに科学上の利用に努めること。

出典：実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準 より一部抜粋

問2

以下の文章を読み、「越境性動物感染症」を制御するために獣医師が果たすべき役割について、800字以内で記述しなさい。

伝播力が強く、国境に関係なく、急速に感染拡大する可能性が高い動物感染症を越境性動物感染症という。近年、経済のグローバル化に伴い、食品、畜産物、飼料、家畜（生きた家畜や鶏卵・ひななど）が国境を越えて移動し、感染症のグローバル化が生じている。また、媒介節足動物が気流や人、動物に付着して越境・侵入する場合もある。重要なものとして口蹄疫、アフリカ豚熱があり、他にも、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、牛肺疫、リフトバレー熱、小反芻獣疫などがある。

出典：近代出版 動物の感染症 第4版 12ページより一部改変抜粋